

# 給油時のうっかりミスに気をつけて！！

## ～油流出事故にご注意を～

本格的な冬を迎えて、ファンヒーターやストーブなど各家庭や事業所において灯油を取り扱うことが多くなり、それに伴い、一瞬目を離したスキに油が漏れて、河川に灯油が流入する事故が増えてきます。

河川の水は水道水をはじめとして様々な目的に利用されており、油流出等による水質事故は水利用や水環境へ悪影響を及ぼします。冬期間はうっかりミスによる油流出の水質事故が数多く発生する時期でもあり、ちょっとした油断が水道水が取水できなくなるほどの大事故につながる恐れもあります。

河川への油流出事故が発生した場合は、処理するために多くの人手とオイルフェンスや吸着マットなどの資材により油流出処理作業を行います。



オイルフェンスによる下流への流出防止



吸着マットによる油回収状況

事故発生後は、関係機関や処理業者等の多くの人々が携わり、多大な労務及び費用を要し、場合によっては原因者に処理費用を負担して頂くことがあります。

油類や薬剤を取り扱う企業や業者はもちろんですが、一般家庭でも灯油などの取り扱いにはうっかりミスの無いようくれぐれも注意をお願いします。

## 阿賀野川における水質事故の原因(平成21年1月～12月)

※流出物質の8割が油です。原因は取扱いミスが4割を占めています。

